

2026 年 4 月 14 日

YYYY/MM/DD

Fellowship ID : BR250405

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

To: President, Japan Society for the Promotion of Science

研究活動報告書

Research Report

1. 受入研究者/ Host researcher

受入研究機関・部局・職

Name of Host Institution, Department and Title

東京大学・生産技術研究所・助教

受入研究者氏名

Host Researcher's Name

近藤 誠

2. 外国人招へい研究者/ Fellow

所属研究機関・部局・職

Name of Institution, Department and Title

The University of Utah・Dept. of Biomedical Engineering・Distinguished Professor

外国人招へい研究者氏名

Fellow's Name

David William GRAINGER

3. 採用期間/ Fellowship Period

2026 年 1 月 4 日

～

2026 年 1 月 17 日

14 日 (Days)

か月 (Months)

4. 研究課題/ Research Theme

軟骨再生治療のための細胞由来製品の前臨床研究と、その治療メカニズムの基盤解明

5. 研究活動報告/ Research Report

(1) 研究活動の概要・成果/ Summary of Research Results

旭川医科大学整形外科松倉助教らとのディスカッションにより、日米における軟骨再生技術の医療現場への導入に向けた戦略および課題について意見交換を行った。東京女子医科大学高橋講師、岡野名誉教授らとのディスカッションにおいては、3拠点それぞれの技術的強みおよび役割分担を再確認するとともに、今後の連携の方向性について議論した。また、生産技術研究所松永研究室においては、松永教授をはじめラボの研究員・学生と幅広く議論を行い、材料工学およびバイオ医薬品開発の観点から有益な助言を得た。これらの議論を通じて、今後の研究推進に向けた具体的な検討事項が整理されており、引き続き継続的な意見交換を行う予定である。

(2) 主な研究発表(雑誌論文、学会、集会、知的財産権等) / Main Research Publications

[雑誌論文] [Juvenile Chondrocyte Cell Sheet Layering Enhances In Vitro Chondrogenic Differentiation](#), Nicolás F Metzler, Adam J Ford, Teruo Okano, David W Grainger, [Makoto Kondo](#). ACS biomaterials science & engineering 12(3) 1689-1703

(3) その他/ Remarks

Dr. Grainger から申請資料へのフィードバックを得て、GTIE GAP ファンド 2026 海外市場開拓実践コースに採択された。

(注) 採用期間終了後 3 ヶ月以内に提出

※ (Note) Submit the form within 3 months after the expiration of fellowship.

※ 様式 1 に記載された情報を基に確認しますので、部局名等の名称含め、内容に誤りが無いか必ずご確認ください。